日々神に感謝しよう

聖書の教えによると、福音を正しく理解し、ただキリストを自分の救い主と心から信じた瞬間から、もうすばらしいことが始まっていると約束しています。

- ✦ 自分のすべての罪を許されました。（ローマ人5:1）
- ✦ 永遠の命を与えられました。（ヨハネ伝5:24、10:28）
- ✦ 天国に行く確信が与えられました。（ヨハネ伝14:1-3）
- ✦ 神の子となる資格が与えられました。（ヨハネ伝1:12）
- ✦ 試練の時の理解者と、困難の時の助け主が約束されました。（ヘブル人2:18、4:15-16;詩篇68:5）

ルカ伝17章11-19節によると、イエスは10人のライ病人をいやしました。そのうちの9人までは喜び勇んで立ち去り、イエスに感謝して特にもどって来る事がありませんでした。この9人のライ病人の悪い例に習わないで、神が自分にして下さったことを、神のみ心にかなった生き方をしたり、神の愛のおきてに従ったり、神のみ言葉に忠実に歩んだりすることによって感謝の思いを示そうではありませんか(ルカ伝7:40-43、第1ヨハネ4:19、ヨハネ伝14:21)。

福音を宣べ伝えよう

次のように想像してみて下さい。ある日、10階からピアノがつるしてあり、そのつなが今にも切れそうになっているアパートの前をあなたが知らずに歩いていてピアノが落ちて来たとします。その瞬間、それに気が付いた見ず知らずの人がとっさにあなたを救おうとして突きとばしました。でもこの救ってくれた人は、落ちて来るピアノの下敷きになって押しつぶされてしまいました。この人は息を引き取る前に、自分のポケットから震える手で手紙を取り出し、あなたに渡そうとします。あなたはその手紙を受け取りますか。

イエスはあなたを救うために死んで、その手紙をあなたに残されました。この手紙は福音とよばれるものです。「そしてイエスは彼らに言われた、『全世界に出て行って、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。』」
(マルコ伝16:15;参照聖句、マタイ伝28:18-20、使徒行伝1:8、ローマ人10:14-15)。あなたはイエスが残した手紙を喜んで受け取りそのゆい言通りに実行しますか。

あなたは友人や知人に、このような簡単な質問をしてみて下さい、「もし今、死んだとしても必ず天国に行けると思いますか。その確信を聖書から正しく説明を受けた事がありますか。」もしその人は説明を受けた事がないと言ったら、「それでは説明してもいいですか」と申し出て下さい。たいていの人は、どうにかしてその確信を持ちたいと思うものです。もしその人がさらに興味を示したら、どこかに落ち着いてゆっくりとこの小冊子などからでも説明してあげてみて下さい。このことによってその人は遅かれ早かれ大いに感謝するに違いありません。

本題に入る前に、次の基本的な三つの質問に答えてみて下さい。

1. 聖書の「福音」とはいったい何か、どのように教えられましたか。

_____

_____

_____

_____

2. もし今晩死んで、神のみ前に立たされ、神が天国に入れてあげるけれど、どうしてだと思いますかと質問された時、なんと答えますか。

_____

_____

_____

_____

3. もし今、死んだら、確実に天国に行けると思いますか。

❑ はい、確実に天国に行けると思います。

❑ いいえ、確実に天国に行けるかどうかわかりません。